


HDSPARK

セットアップガイド

ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) EDIUS / エディウスおよびそのロゴは、トムソン・カノーブス株式会社の登録商標です。
- (8) Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- (9) Intel、Pentium、Xeon、Core Duo は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- (10) QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTime は、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- (11) Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader はアドビシステム社の登録商標です。
- (12)  Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- (13) HDV はソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- (14) HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- (15) その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は PC の基本的な操作を行なうことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的な PC の操作と同様に行なってください。
- 本書では Microsoft® Windows® 7 operating system を Windows 7 (Ultimate、Professional、Home Premium、Home Basic の総称) と表記します。

- 本書では Microsoft® Windows Vista® operating system を Windows Vista (Ultimate、Business、Home Premium、Home Basic の総称) と表記します。
- 本書では、Microsoft® Windows® XP Professional operating system を Windows XP と表記します。



健康上の注意

ごくまれに、コンピューターのモニターに表示される強い光や刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像／音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画にかかわらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は一切負いかねますのでご注意ください。

HDSPARK

セットアップガイド

October 8, 2010

Copyright © 2010 Technicolor dba Grass Valley

All rights reserved.

目次

安全に関する注意事項	5
------------	---

1 はじめに

ご使用になる前に	7
----------	---

2 ハードウェアセッティング

各部の名称	10
ハードウェアの取り付け	11
EDIUS をインストールする	12
EDIUS インストール後の確認	12
EDID Monitor について	16

3 EDIUS の起動とプロジェクト作成

EDIUS を起動する	17
プロジェクトを作成する (EDIUS 6 の場合)	18
プロジェクトを作成する (EDIUS Neo 3 の場合)	21

4 編集環境の設定

デバイスプリセットを登録する	23
プレビューデバイスを設定する	31

5 ハードウェア仕様


HDSPARK メインボード	35
----------------	----

安全に関する注意事項



■絵表示について



本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。


 **警告**：人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。

 **注意**：けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

■絵表示の意味

 ：この記号はしてはいけないことを表しています。


 ：この記号はしなければならないことを表しています。

：この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。


 **警告**

 ●健康上のご注意

ごくまれに、コンピューターのモニターに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

 ●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。

 ●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま、製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かず、パソコン本体や周辺機器の筐体（電源ユニットなど）、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。

❗ ●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください（体内の静電気を放電することになります）。



注意



●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧ください。どうか、メーカーに直接お問い合わせいただいでお確かめください。



●他社製品と併用されるときにの注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあります。そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。



●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。

製品を取り扱うときは、手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。

はじめに

ご使用になる前に

動作環境

ご注意 • 下記の条件を満たすすべての環境で動作を保証するものではありません。

PC 本体

下記の条件を満たす PC/AT 互換機

CPU : Intel Pentium 4, Xeon, Core Duo 以上の CPU

※ EDIUS を使用する場合には、SSE2 命令をサポートした CPU が必要です。

※ EDIUS はマルチプロセッサ、ハイパー・スレッディング・テクノロジーに対応しています。

PCI バス

PCI Express x1 (PCI Express Spec. Revision 1.0a) × 1

ハードディスクドライブ

ソフトウェアのインストールに 6GB 以上の空き容量が必要
映像用に ATA100/7200 回転以上のドライブが必要

※ HD 解像度編集を行う場合は RAID 0 を推奨

※ ハードディスクドライブの空き容量は、編集するファイル容量の 2 倍程度必要

Section 1 - はじめに

グラフィック

Direct3D 9.0c 以降 PixelShader3.0 以上

1024x768pixel 32bit 以上の表示が可能であるもの

メモリとビデオメモリ

メモリとビデオメモリの動作条件は表のとおりです。

フレームサイズ		SD サイズ	HD サイズ
量子化ビット数		8bit	8bit
32bit OS		○	○
64bit OS		○	○
メモリ	最低	1GB	2GB
	推奨	2GB	4GB
ビデオメモリ	最低	256MB	512MB
	推奨	512MB	1GB

POINT

- EDIUS 6 のソフトウェアの仕様では、10bit フォーマットの入出力や HD より大きいサイズの映像の出力に対応しています。

サウンドシステム

WDM ドライバーに対応したもの

光学ドライブ

インストールに DVD-ROM が必要

※ BD や DVD 作成には、対応したドライブが必要です。

対応 OS

Windows 7 (32bit/64bit)

Windows Vista SP2 以上 (32bit/64bit)

Windows XP SP3 以上 (32bit)

Internet Explorer 8 以上

※ ただし、Virtual PC、VMWare、Windows 7 の Windows XP mode など仮想 OS 内での動作は保障しません。

USB ポート (EDIUS 6 のみ)

1 つ使用 (USB1.1 以上。USB キーで使用)

その他

インターネット接続環境、メールアドレス

※ アクティベーション、ユーザー登録、サポート、ソフトウェアのアップデートに必要。

制限事項

本製品をご使用いただくにあたり、以下の制限事項がありますのであらかじめご確認ください。また、各アプリケーションの「Readme.htm」にはマニュアルに記載されていない事項などが記述されている場合がありますので必ずお読みください。

◆ スタンバイモードについて

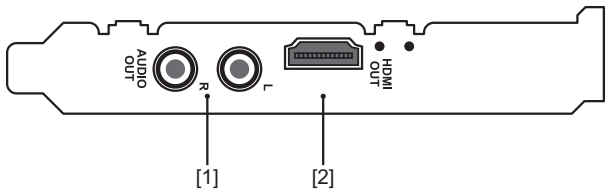
本製品は、スクリーンセーバーおよびモニター電源のスタンバイモードを無効 (なし) に設定してご使用ください。

ハードウェアセッティング

このセクションでは、HDSPARK の各部名称や、HDSPARK の取り付けから EDIUS のインストールまでの流れについて説明しています。

各部の名称

HDSPARK メインボードリアパネル



[1] アナログオーディオ出力端子 (AUDIO OUT)

[2] HDMI 出力端子 (HDMI OUT)

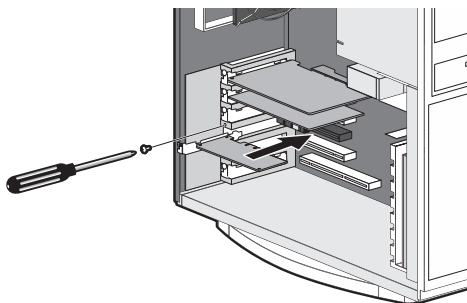
ハードウェアの取り付け

メインボードの取り付け

取り付けを行う前に、作業を行うことができるほどの無い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

PC の電源、ケーブル類（電源含む）が PC から抜かれていることを必ず確認してください。

1 メインボードを PCI Express スロットにしっかりと差し込む



POINT

- PCI Express スロットの種類については、ご使用の PC（マザーボード）の取扱説明書をご確認ください。

PCI Express x1 スロット（PCI Express x1）にメインボード（HDSPARK）を装着してください。

※ PCI Express x1 スロットが使用できない場合は、PCI Express x4 スロットまたは PCI Express x8 スロットに取り付けることもできます。

POINT

- 当社製のボードは通常、簡単にスロットに装着できます。何かに引っかかりうまく差し込むことができない場合は、無理に押し込まないようにしてください。このような場合は、ボードを一度取り外し、引っかかるの原因を確認してください。また、異なるスロットへの装着を試してください。どうしても何かに引っかかり装着することができない場合は、物理的な問題でボードを使用することができません。当社製のボードは PCI Express および PCI の規格によって設計されていますので、PC に何らかの問題がある可能性があります。このような場合は、PC メーカーまたはマザーボードメーカーへご相談ください。

EDIUS をインストールする

HDSPARK の取り付けが完了したら、EDIUS をインストールします。インストールの手順について詳しくは、EDIUS インストールガイドを参照してください。

EDIUS インストール後の確認

リソースの確認 (Windows 7/Windows Vista の場合)

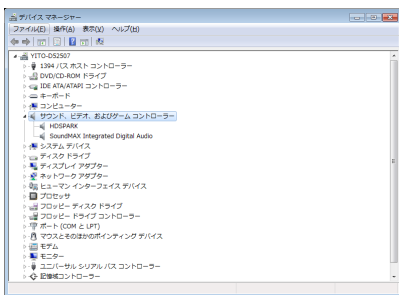
ドライバー、アプリケーションソフトのインストールを完了し、再起動後にドライバーが正常にインストールされたかを確認してください。

1 〈スタート〉メニューをクリックし、〈コントロールパネル〉 → 〈ハードウェアとサウンド〉をクリックする

または〈スタート〉メニューの〈コンピューター〉(Windows Vista では〈コンピュータ〉)を右クリックし、〈プロパティ〉をクリックします。

2 〈デバイス マネージャー〉(Windows Vista では〈デバイス マネージャ〉)をクリックする

3 〈サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー〉(Windows Vista では〈サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ〉)をダブルクリックする



4 デバイス名を確認する

- [HDSBARK]

デバイス名の頭に「！」や「×」のマークが表示されている場合、ドライバーが正常にインストールされていません。再インストール、リソース競合の確認やボード差込位置の変更などをお試しください。

5 〈デバイス マネージャー〉(Windows Vista では〈デバイス マネージャ〉)を閉じる

メインボードのドライバーの確認は以上です。

リソースが競合している場合

お使いの製品と他のデバイス類のリソースが競合もしくは共有している場合、正常動作しないことがあります。以下の方法をお試しください。

- 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器の IRQ の変更を行ってください。
- PC 本体（マザーボード）の BIOS でリソースの設定を変更してください。BIOS の設定方法は各メーカーによって異なりますので、PC 本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書をご参照ください。

POINT • IRQ の設定方法は PC、マザーボードなど各メーカーにより異なります。BIOS で PCI Express や PCI スロットごとに任意の IRQ を割り当てるタイプや、特定の IRQ をあらかじめ予約するタイプなどがあります。

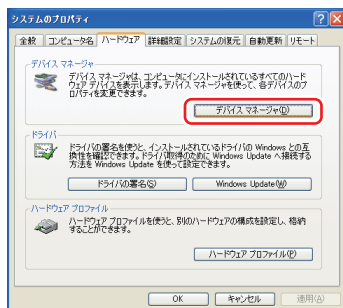
リソースの確認（Windows XP の場合）

ドライバー、アプリケーションソフトのインストールを完了し、再起動後にドライバーが正常にインストールされたかを確認してください。

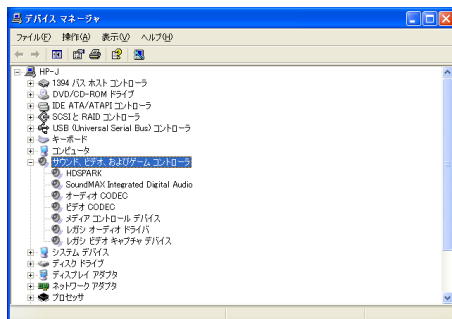
- 1 〈スタート〉メニューをクリックし、〈コントロールパネル〉 → 〈システム〉をダブルクリックする

または 〈スタート〉メニューの 〈マイコンピュータ〉を右クリックし、〈プロパティ〉をクリックします。

2 <ハードウェア> タブをクリックし、[デバイス マネージャ] をクリックする



3 <サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ> をダブルクリックする



4 デバイス名を確認する

- [HDSPARK]

デバイス名の頭に「！」や「×」のマークが表示されている場合、ドライバーが正常にインストールされていません。再インストール、リソース競合の確認やボード差込位置の変更などをお試しください。

5 [デバイス マネージャ] を閉じる

メインボードのドライバーの確認は以上です。

リソースが競合している場合

お使いの製品と他のデバイス類のリソースが競合もしくは共有している場合、正常動作しないことがあります。以下の方法をお試しください。

- 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器の IRQ の変更を行ってください。
- PC 本体（マザーボード）の BIOS でリソースの設定を変更してください。BIOS の設定方法は各メーカーによって異なりますので、PC 本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書をご参照ください。

POINT

- IRQ の設定方法は PC、マザーボードなど各メーカーにより異なります。BIOS で PCI Express や PCI スロットごとに任意の IRQ を割り当てるタイプや、特定の IRQ をあらかじめ予約するタイプなどがあります。

EDID Monitor について

当社製品を PC に装着した状態で EDIUS をインストールすると、ドライバーと同時に付属アプリケーションソフトウェア EDID Monitor がインストールされます。

EDID Monitor は、当社製品 HDSPARK と HDMI ケーブルで接続されたモニター機器の映像表示能力や受信可能なオーディオチャンネル数などを事前に確認するためのソフトウェアです。

EDIUS の起動とプロジェクト作成

EDIUS で編集作業を行うときの一番大きな作業単位となるのがプロジェクトファイルです。プロジェクトファイルには、編集の経過や、映像のフォーマットなどが記録されます。

このセクションでは、EDIUS を初めて起動したときの操作とプロジェクトの作成方法について説明しています。

ここでは、EDIUS 6 を使用する場合を例に説明しています。特に記載がない場合は、EDIUS Neo 3 でも同様の手順になります。

POINT

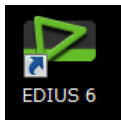
- EDIUS 6 をご使用いただくには、同梱の USB キーを PC の USB ポートに装着する必要があります。
- 次回以降、起動時の操作やプロジェクトの作成手順は、初回起動時と一部異なります。詳しくは、EDIUS リファレンスマニュアルを参照してください。

EDIUS を起動する

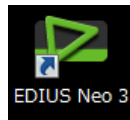
EDIUS を起動し、プロジェクトファイルの保存場所を指定します。

1 デスクトップのアイコンをダブルクリックする

EDIUS 6 の場合



EDIUS Neo 3 の場合

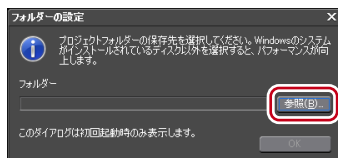


Section 3 – EDIUS の起動とプロジェクト作成

EDIUS をインストール後、初めて起動したときは、〈フォルダーの設定〉ダイアログが表示されます。

2 [参照] をクリックし、プロジェクトファイルを保存するフォルダーを指定する

OS などのシステムがインストールされているドライブ以外に保存先を指定することをおすすめします。



3 [OK] をクリックする

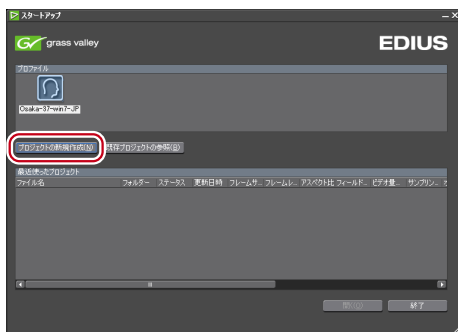
次回からプロジェクトを作成すると、指定したフォルダーに保存されます。

〈スタートアップ〉ダイアログが表示されます。

プロジェクトを作成する (EDIUS 6 の場合)

作成するプロジェクトのフォーマットを設定し、プロジェクトプリセットとして登録しておきます。

1 〈スタートアップ〉ダイアログで、[プロジェクトの新規作成] をクリックする

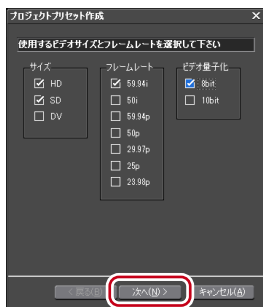


プロジェクトを作成する（EDIUS 6 の場合）

初めて起動したときは、「プロジェクトプリセット作成」ウィザードが起動します。

2 〈サイズ〉、〈フレームレート〉、〈ビデオ量子化〉の順番に、各項目 1 つ以上チェックを入れ、[次へ] をクリックする

EDIUS で作成したいプロジェクトのフォーマットに合わせて、ビデオサイズとフレームレート、ビデオ量子化を設定します。1 項目に複数チェックを入れることもできます。



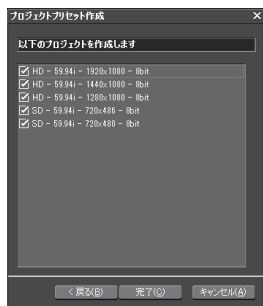
POINT

- EDIUS 6 のソフトウェアの仕様では、〈ビデオ量子化〉を 10bit に設定すると、10bit 精度を保持して編集することができますが、HDSPARK では、10bit でのモニター出力に対応していません。

3 内容を確認する

手順2で設定した内容に該当するフォーマットが一覧で表示されます。

チェックが入っているフォーマットのプロジェクトプリセットが作成されるので、必要に応じて、使用しないフォーマットのチェックをはずします。

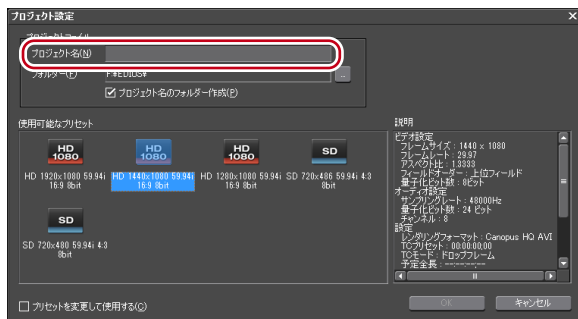


4 [完了] をクリックする

〈プロジェクト設定〉(簡易設定)ダイアログが表示され、〈使用可能なプリセット〉に、作成したプロジェクトプリセットがアイコンで表示されます。

続いて、新しいプロジェクトを作成します。

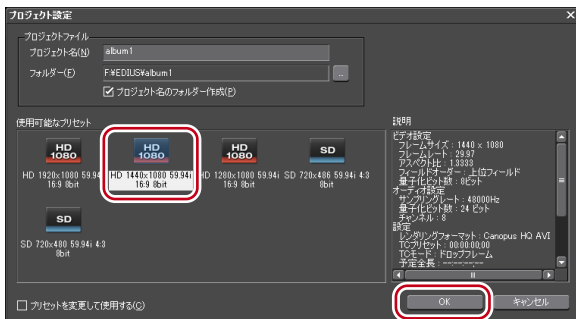
5 〈プロジェクトファイル〉の〈プロジェクト名〉にプロジェクト名を入力する



プロジェクトを作成する (EDIUS Neo 3 の場合)

6 プロジェクトプリセットを選び、[OK] をクリックする

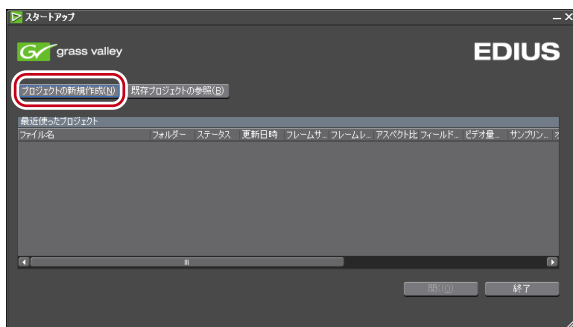
選んだプロジェクトプリセットで、新しいプロジェクトファイルが開きます。



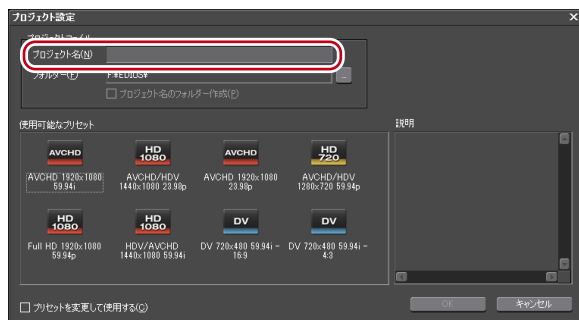
プロジェクトを作成する (EDIUS Neo 3 の場合)

プロジェクトを新規作成します。

1 〈スタートアップ〉ダイアログで、[プロジェクトの新規作成] をクリックする



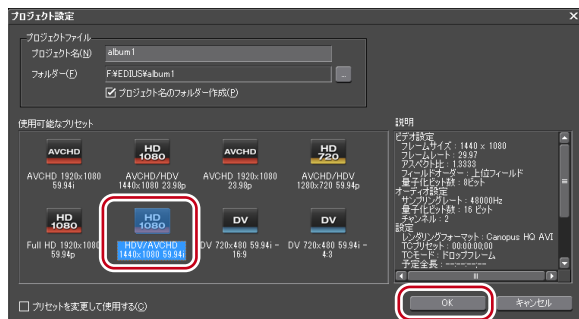
2 <プロジェクトファイル> の <プロジェクト名> にプロジェクト名を入力する



3 プロジェクトプリセットを選び、[OK] をクリックする

プロジェクトプリセットは、出力先のメディアのフォーマットに合わせて選びます。プロジェクトプリセットについて詳しくは、EDIUS リファレンスマニュアルを参照してください。

選んだプロジェクトプリセットで、新しいプロジェクトファイルが開きます。



編集環境の設定

このセクションでは、キャプチャやテープ出力に使用する機器の接続情報を登録したり、編集集中に使用する機器について設定したりする手順について説明しています。

これらの編集環境は、編集作業を始める前に設定しておいてください。

ここでは、EDIUS 6 を使用する場合を例に説明しています。特に記載がない場合は、EDIUS Neo 3 でも同様の手順になります。

デバイスプリセットを登録する

キャプチャやテープ出力時に使用する外部機器（カメラやデッキ、Web カメラ、マイクなど）や当社製品について、接続情報をデバイスプリセットとして登録し、管理します。キャプチャやテープ出力の際に、登録しておいたデバイスプリセットを呼び出すことで、入出力の操作をスムーズに行うことができます。

ここでは、PC に装備されている IEEE1394 端子を使用して HDV 機器からキャプチャする場合を例に、デバイスプリセットを登録する方法について説明します。

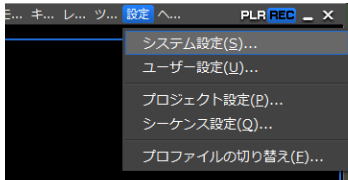
- POINT**
- ファイルベースで映像や音声記録されている外部機器類（CD/DVD や AVCHD カメラ、SD メモリーカードなどのリムーバブルメディア）は、デバイスプリセットとして登録する必要はありません。

1 入出力に使用する機器を PC に接続する

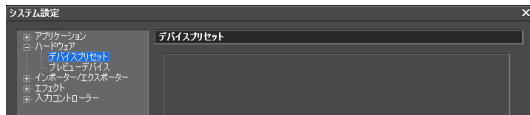
HDV 機器 (または DV 機器) から入力する場合は、DV ケーブルを使用して、HDV 機器 (または DV 機器) を PC の IEEE1394 端子に接続します。

DirectShow ベースのビデオキャプチャデバイス、オーディオキャプチャデバイスから入力する場合は、デバイスを PC の USB 端子に接続します。

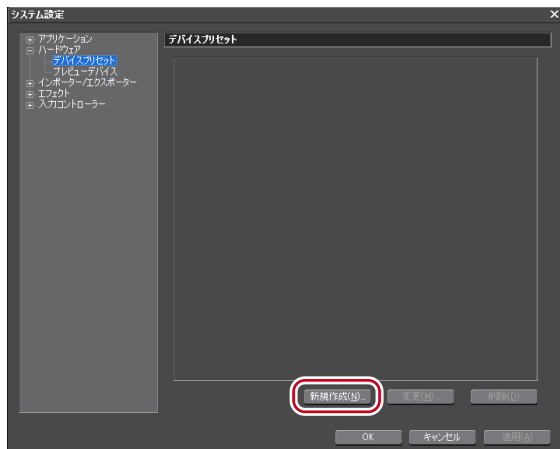
2 メニューバーの〈設定〉をクリックし、〈システム設定〉をクリックする



3 〈ハードウェア〉のツリーをクリックし、〈デバイスブリセット〉をクリックする

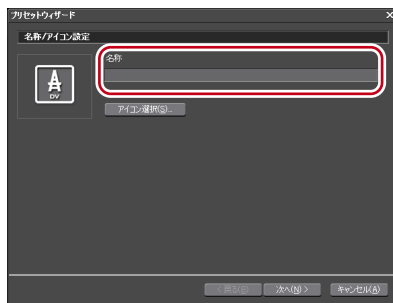


4 「新規作成」をクリックする



「プリセットウィザード」が起動します。

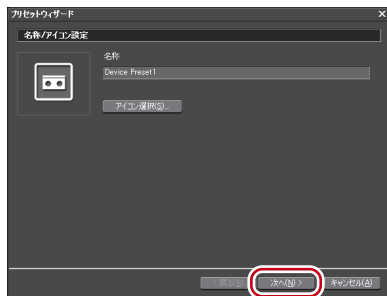
5 デバイスプリセットの名前を入力する



6 「アイコン選択」をクリックし、アイコンの画像を選んで [OK] をクリックする

お好みの画像を使用する場合は、[...] をクリックし、ファイルを選びます。

7 [次へ] をクリックする



入力時の接続情報やフォーマットを設定する画面が表示されます。

8 〈インターフェイス〉のリストをクリックし、入力に使用するインターフェイスを選ぶ

- 〈Generic HDV〉

HDV 機器を PC に装備されている IEEE1394 端子に接続して入力する場合に選びます。

- 〈Generic OHCI〉

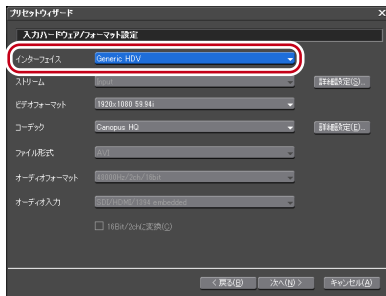
DV 機器を PC に装備されている IEEE1394 端子に接続して入力する場合に選びます。

- 〈DirectShow Capture〉

DirectShow ベースのビデオキャプチャデバイス、オーディオキャプチャデバイスから入力する場合に選びます。

- 〈なし〉

入力用のインターフェイスを使用しない場合に選びます。



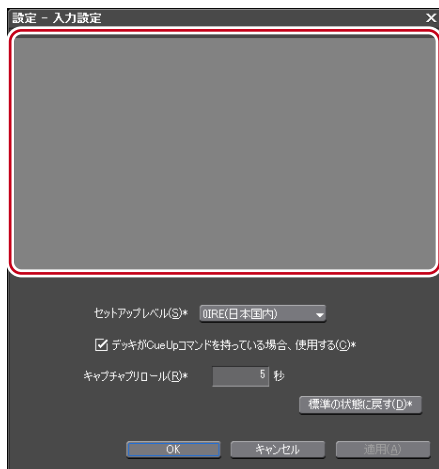
9 「詳細設定」をクリックする



手順8で選んだインターフェイスの入力設定画面が表示されます。

EDIUSがキャプチャに使用する入力機器を認識している場合、画面上部に入力機器からの映像が表示されます。

※ 画面は〈Generic HDV〉の場合です。



10 各項目を設定する

入力設定を行います。

各インターフェイスの詳細設定について詳しくは、EDIUSリファレンスマニュアルを参照してください。

11 [OK] をクリックする

12 <ビデオフォーマット> のリストをクリックし、キャプチャする素材のビデオフォーマットを選ぶ



13 <コーデック> のリストをクリックし、キャプチャ時に使用するコーデックを選ぶ

選んだコーデックによっては、[詳細設定] をクリックして、コーデックの詳細を設定できます。



14 必要に応じて、その他の項目を設定し、[次へ]をクリックする

出力時の接続情報やフォーマットを設定する画面が表示されます。

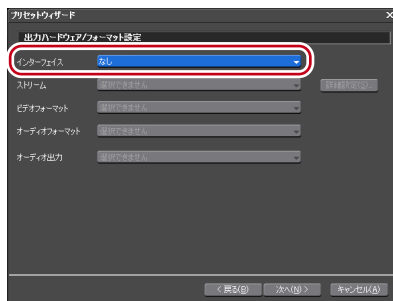
15 〈インターフェイス〉のリストをクリックし、出力に使用するインターフェイスを選ぶ

- 〈Generic OHCI〉

PC に装備されている IEEE1394 端子を利用して DV 機器などにテープ出力する場合に選びます。

- 〈なし〉

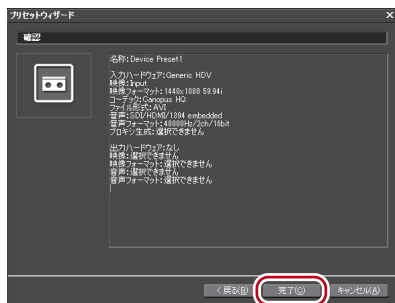
出力用のインターフェイスを使用しない場合や HDV 機器へ出力する場合、デッキ制御できない機器へテープ出力する場合に選びます。



出力設定について詳しくは、EDIUS リファレンスマニュアルを参照してください。

16 必要に応じて、〈ビデオフォーマット〉などの項目を設定し、[次へ]をクリックする

17 内容を確認し、[完了] をクリックする



デバイスプリセット一覧に作成したプリセットのアイコンが表示されます。



18 [OK] をクリックする

デバイスプリセットを使用して、キャプチャや出力を行う手順について詳しくは、EDIUS リファレンスマニュアルを参照してください。

プレビューデバイスを設定する

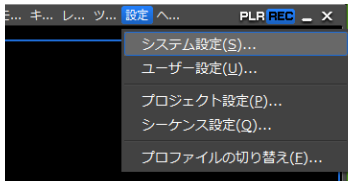
PC に接続した外部モニターの表示を確認しながら編集を行う場合など、編集に使用するモニターや当社製品などの機器をプレビューデバイスとして管理し、詳細を設定できます。

ここでは、HDSPARK をプレビューデバイスとして使用し、詳細を設定する方法について説明します。

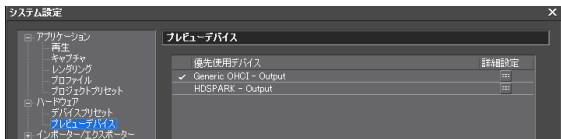
1 編集に使用する機器を HDSPARK に接続する

HDMI 端子搭載のテレビモニターを使用する場合は、HDMI ケーブルを使用して、テレビモニターを HDSPARK の HDMI 出力端子に接続します。

2 メニューバーの〈設定〉をクリックし、〈システム設定〉をクリックする

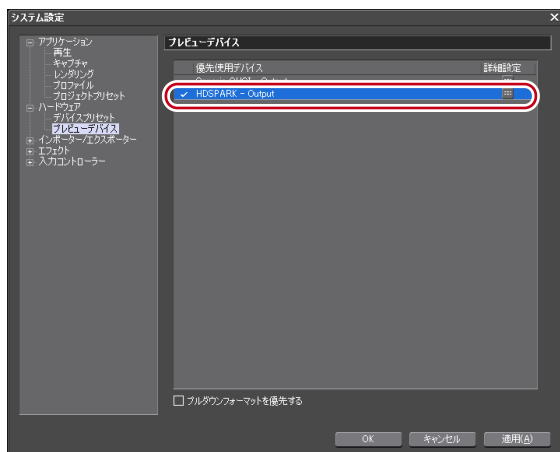


3 〈ハードウェア〉のツリーをクリックし、〈プレビューデバイス〉をクリックする



4 〈HDSPARK - Output〉をクリックする

使用するプレビューデバイスを選びます。

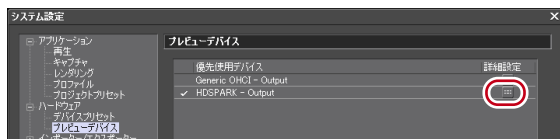


デバイス名の横にチェックが付きます。

POINT

- 〈プルダウンフォーマットを優先する〉にチェックを入れると、より一般的なフォーマット (59.94i / 50i / 59.94p / 50p) にプルダウン可能な場合、プルダウンを優先して出力します。23.98p / 29.97p / 25p 表示に対応していないモニターをお使いの場合にお試してください。

5 [詳細設定] をクリックする



プレビューデバイスを設定する

プレビューデバイスの詳細設定画面が表示されます。画面上部にカラーバーが表示されます。プレビューデバイスのモニターにも同様にカラーバーが表示されます。



- ご注意**
- プレビューデバイスが、現在のプロジェクト設定のビデオフォーマットと互換性がない場合、警告メッセージが表示されます。プロジェクト設定をプレビューデバイスに合わせて設定し直してください。

6 各項目を設定する

プレビューデバイスの詳細設定を行います。
[適用] をクリックすると、続けて他の項目を設定することができます。

◆ オーディオ出力設定

編集時に使用するモニター出力機器についての設定です。

オーディオモニタ(M)*		HDMI端子/オーディオ出力設定*			
モニターするオーディオのチャンネルを選択してください		<input type="radio"/> 8CH(8)			
チャンネル1/2		<input checked="" type="radio"/> モニタ 2CH(Q)			
バランスオーディオ出力設定*					
	出力ヘッドルーム[dB]	出力レベル[dBm]			
CH-1					
CH-2					
CH-3					
CH-4					
標準の状態に戻す(D)*					
OK		キャンセル		適用(A)	

オーディオモニタ

モニターするオーディオチャンネルを選びます。

HDMI 端子 / オーディオ出力設定

HDMI 端子からの出力を設定します。8ch で出力するか、アナログ 2ch で指定したチャンネルで出力するかを選びます。

バランスオーディオ出力設定

使用できません。

標準の状態に戻す

初期設定に戻します。

7 [OK] をクリックする

8 [OK] をクリックする

ハードウェア仕様

HDSPARK メインボード

PCI Express 規格	PCI Express x 1 (PCI Express Spec. Revision 1.0a)	
出力端子	HDMI 出力	HDMI™ Connector x 1 (LPCM 8ch)
	アナログオーディオ出力	RCA ジャック (ステレオ 1 系統)
外形寸法	97.0 (W) × 68.9 (H) mm PCI ブラケットを含まない	
質量	約 55g (PCI ブラケットを含む)	
最大消費電流	+3.3V 0.9A, +12V 0.05A	
動作温度	0 ~ 45℃	
動作湿度	10 ~ 80% (結露のないこと)	